

(様式4) 継続事業中間評価調書 (令和4年度実施事業)

評価確定日(令和5年6月7日)

事業コード			政策コード			政策名	県民を犯罪等から守るための取組						
事業名	子供・女性を犯罪から守る安全活動事業		施策コード			施策名	少年非行防止・保護総合対策の推進						
			目標コード			施策目標名	少年の規範意識・犯罪被害防止意識の向上						
部名	警察本部	課名	人身安全対策課		係名	企画係	(tel)3073	担当課長名	鈴木 伸	担当者名	大越 光一郎		
評価対象事業の内容										事業年度	H15 年度～ 年度		
1-1. 事業実施の背景 (施策目的達成のための必要性)						3. 事業目的(どういう状態にしたいのか)							
<p>県内の非行少年については、昨年度と比較して減少したものの、全国ではいわゆる闇バイトを利用して特殊詐欺に加担する事件や、少年による強盗事件が相次いでおり、当県でも悪質な非行事案の発生が懸念される。また、SNS等を利用した少年の福祉を害する犯罪や不審者からの声掛け事案が後を絶たない上、児童虐待事案も高止まりの状態が続くなど、少年に関する問題は予断を許さない状況にある。こうした情勢を踏まえ、関係機関・団体、ボランティア、地域住民と連携した少年の健全な育成活動及び保護対策を一層推進し、少年の規範意識や防犯意識の向上を図る必要がある。</p>						<p>非行・犯罪被害防止教室、立ち直り支援活動、有害環境の浄化活動を継続的に推進し、少年の規範意識と防犯意識の向上を図ることにより、少年の健全な育成が果たされ、少年の非行や犯罪被害が減少し、将来的に社会全体の安全が保たれる。</p>							
1-2. 外部環境の変化及び事業推進上の問題点						4. 重点施策推進方針との関係 <input checked="" type="checkbox"/> 重点推進事項 <input type="checkbox"/> その他の事業							
<p>少年を取り巻く環境が複雑・多様化しており、地域社会や家庭の教育力の低下が懸念される現状にあり、地域社会が一体となって少年非行防止・健全育成活動に取り組む気運の向上が課題である。また、少年に関する問題に、インターネット上のSNSの利用が深く関わっている現状にあり、少年や保護者に対する効果的な指導も喫緊の課題となっている。</p>						5. 目的達成のための方法							
2. 住民ニーズの状況 (事業継続中に把握したもの)						6. 前回評価結果等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施又は継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 再検討又は縮小・休廃止							
<p>①ニーズを把握した対象 <input type="checkbox"/>受益者 <input checked="" type="checkbox"/>一般県民 (時期: 年 月)</p> <p>②ニーズの把握の方法</p> <p><input type="checkbox"/>アンケート調査 <input type="checkbox"/>各種委員会及び審議会 <input checked="" type="checkbox"/>ヒアリング <input type="checkbox"/>インターネット</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>その他の手法 (具体的に )</p> <p>③ニーズの具体的内容</p> <p>小学生対象の非行・犯罪被害防止教室で、視覚的効果が特に高い「なまはげNEWS隊」を活用した結果、インパクトが強く規範意識等の向上につながるとして学校から好評であり、開催依頼が続いている。また、大学生少年サポーターによる少年の立ち直り支援活動に参加した保護者から「反発心の強かった子供が、年の近い大学生と一緒に活動することで態度が軟化し、親子関係が良くなった。」と感謝の声が寄せられるなどニーズが高い。</p>						<p>①指摘事項</p> <p>特になし。</p> <p>②指摘事項への対応</p> <p>特になし。</p>							
7. 事業の全体計画及び財源													
事業内訳コード	事業項目	左 の 説 明					30年度	31年度	R2年度	3年度	4年度	5年度	全体(最終)計画
	なまはげNEWS隊の活動に要する経費	警察職員等が「なまはげ」に扮して非行防止活動を行い、少年の規範意識、防犯意識の向上を図る。					98	98	100	100	100	100	
	大学生少年サポーター活動経費	少年と近い年齢層の大学生による非行少年等の立ち直り支援活動のほか、街頭巡回活動、広報啓発活動を実施する。					220	220	220	220	220	220	
	歓楽街における環境浄化対策経費	風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律に基づく、少年指導委員の研修を実施し、活動の推進を図る。					211	211	211	156	156	107	
予算額(千円)						529	529	531	476	476	427		
財源内訳	国庫補助金						152	123	123	101	101	81	
	県債												
	その他の一般財源						377	406	408	375	375	346	

8. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

指標名 非行防止教室等開催数 (年度)

指標の種類  成果指標  業績指標

指標式 非行防止教室等開催数を指標とする

①年度別の目標値(見込まれる効果)

指標	29年度	30年度	31年度	R2年度	3年度	4年度	5年度	最終年度
目標a	570	570	570	540	540	520	510	
実績b	577	608	534	477	448	480		
b/a	101.2%	106.7%	93.7%	88.3%	83.0%	92.3%		
東北								
全国								

②データ等の出典 非行防止教室等開催数 (年度)

③把握する時期  当該年度中 月  翌年度 4 月  翌々年度 月

指標名 大学生少年サポーター活動数 (年度)

指標の種類  成果指標  業績指標

指標式 大学生少年サポーター活動数を指標とする

①年度別の目標値(見込まれる効果)

指標	29年度	30年度	31年度	R2年度	3年度	4年度	5年度	最終年度
目標a	70	70	70	55	55	55	55	
実績b	60	37	33	47	34	50		
b/a	85.7%	52.9%	47.1%	85.5%	61.8%	90.9%		
東北								
全国								

②データ等の出典 大学生少年サポーター活動数 (年度)

③把握する時期  当該年度中 月  翌年度 4 月  翌々年度 月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することが出来ない理由

②具体的な把握方法

③把握した効果

④データ等の出典

⑤把握する時期  当該年度中 月  翌年度 月  翌々年度 月

所管所属長による評価

	評価結果
現状の課題に照らした妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> c 次代を担う少年の健全な育成のためには、児童・生徒を対象とした効果的な非行防止活動を継続する必要があるほか、効果的な立ち直り支援活動や有害環境浄化活動を一層推進する必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> A
住民ニーズに照らした妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> c 少年非行及び犯罪被害の防止について、地域社会が一体となって少年の健全育成に取り組むことが必要との認識が県民にあり、警察が主導して強力で推進していくことが求められている。	<input type="checkbox"/> B
法令・条例上の要請等 理由	<input type="checkbox"/> C

事業目的の達成状況 評価の対象  対象  対象外

a  b  c

【理由】  
児童・生徒対象の非行防止・犯罪被害防止教室を480回、児童・生徒と保護者等を対象とした情報モラルに関する指導を462回実施し、教育現場から求められている活動を推進した。また、大学生少年サポーターによる立ち直り支援活動等を50回実施し、それぞれの活動が少年の非行や犯罪被害の減少につながっており、有効性が認められる。

事業の経済性の妥当性  a  b  c

【理由】  
比較的低額な事業費により、学校等における各種教室を通して、児童・生徒に直に効果的な指導を行うことができるほか、大学生少年サポーターをはじめとするボランティアの力によって、多くの少年を対象とした活動を実施できる。以上のことから費用対効果が高いと認められる。

事業の妥当性	<input type="checkbox"/> A(妥当性が高い) <input checked="" type="checkbox"/> B(概ね妥当である) <input type="checkbox"/> C(妥当性が低い)
対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持で継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 休廃止

少年の規範意識の向上や犯罪被害防止活動、次世代を担う少年の健全育成活動は、警察と学校等の関係機関が連携しながら行っていくことが望まれており、事業の必要性、効率性が認められることから、今後も社会環境や少年非行の実態を踏まえ、継続して推進する必要がある。

評価結果の当該事業への反映状況 (対応方針)

政策評価委員会意見 (諮問する事業についてののみ記載)